外部評価　様式　　〔第三者評価委員が参加していない学校・幼稚園用〕

令和２年度中央区立久松小学校　外部評価報告書
評価委員：前田委員、関口委員、植田委員、五味委員、福田委員、酒井委員 川名委員、川口委員、村上委員、及川委員 報告書作成者：副校長　藤山　由仁
評価時期　　令和３年２月（電話による聞き取り）
１　重点目標の評価 重点目標１について　　「年間を通した教育課程の充実」 ～教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの充実～ ・　この１年、なかなかコロナ禍で直接接することが難しい中、オンライン会議システム等を取り入れながら新しい形の教育活動に積極的に取り組んでいることに、敬意を表する。 ・　保護者の方も協力的で好ましい状況であると言う意見を読むと、久松小学校を応援している姿勢を感じることができる。 ・　新型コロナウイルス感染症拡大防止とともに学習の質の保障のバランスの取り方が大事である。 ・　今後の児童数増加に対してどう対応していくか、短期と中長期的な視点が必要になってくるだろう。 ・　タブレット端末をどう効果的に活用するか検討する必要がある。 重点目標２について　　「豊かな心と健やかな体の育成」 ～知・徳・体のバランスと調和を重視～　自立・協働・創造 ・　このコロナ禍の中で、保護者の方の意見が良いものがとても多かった。先生方の努力の結果だったのではないか。 ・　子どもたちもコロナ禍で協力して頑張っている話を聞くと、コロナ禍でも子どもたちは順調に成長しているのではないかと思う。 ・　コロナ禍のため運動をなかなか行えていないことを聞くと、運動量の確保が今後の課題と言えるのではないか。 ・　このコロナ禍で、「学校に携わる全ての方々の命を守り、心を支える」という校長先生の姿勢が、とても素晴らしいと思う。その姿勢が児童にも浸透していると思うと、久松小学校は素敵な学校だと感じる。 ２　今後の改善に向けた意見 ・　情報発信の観点から保護者への発信が少し弱かったかもしれない。 ・　来年度は周年の前年度なので、準備を計画的に行ってほしい。 ・　子どもたちの心のケアをこれからも丁寧に行っていってほしい。

＊　３月に各学校のホームページで公表していきます。